

農作業コツのコツ

【第10号】
令和3年6月26日
福光農業改良協議会
砺波農林振興センター南砺班
福光農業協同組合 営農部

早生

飽水管理の徹底により、
稲体活力の維持に努めましょう。

- ① 早生品種は各ほ場の生育状況等を確認し、幼穂形成期までは間断かん水、**幼穂形成期から出穂期までは飽水管理**を徹底しましょう。
- ② コシヒカリ、てんこもり、直播栽培は中干し後、**間断かん水**を行いましょ。

中生・晩生

中干し後は間断かん水を行い、
徐々に田面を固めましょう。

水稻の生育状況 (直播6月18日、移植6月22日：福光農業改良協議会 良質米実証田生育調査結果)

品種名	田植日		草丈(cm)		株当たり茎数(本)		葉齢(葉)		葉色		幼穂形成期		
	R3	平年	R3	平年	R3	平年	R3	平年	R3	平年	R3	平年	
とみちから	5/3	5/3	54.4	55.2	28.3	26.4	10.9	10.7	4.6	4.3	(6/24)	6/24	
五百万石	5/2	5/3	46.9	48.6	19.9	20.3	11.1	11.4	4.3	4.4	(6/27)	6/26	
コシヒカリ	5/14	5/13	44.3	45.1	20.4	22.4	9.9	9.8	4.3	4.3	—	7/10	
てんこもり	5/7	5/8	36.6	39.0	27.2	32.7	10.4	10.6	4.5	4.3	—	7/13	
密苗	コシヒカリ	5/14	5/15	43.8	37.3	21.1	25.9	9.5	9.6	4.3	4.3	—	7/14
	てんこもり	5/8	5/10	37.5	36.3	33.1	33.8	10.3	10.2	4.3	4.2	—	7/14
直播	カルパーコシ	4/29	4/30	39.6	53.3	157	162	8.1	8.6	4.3	4.2	—	7/14
	鉄コ コシ	5/5	4/29	32.0	34.9	82	130	8.1	8.4	4.3	4.3	—	7/16
	鉄コ てんこ	4/27	5/1	27.8	30.5	104	125	8.8	8.7	4.4	4.3	—	7/20

調査筆数：とみちから2筆 五百万石2筆 コシヒカリ3筆 てんこもり2筆 密苗コシヒカリ3筆 密苗てんこもり1筆 直播は各2筆
※直播の田植日は播種日、株当たり茎数はm当たり茎数

水稻

1 穂肥施用

(1) とみちから

- ①**肥効調節型基肥体系** (基肥：L P s とみちから専用) の場合
・原則、穂肥の施用は不要です。
・ただし、**葉色4.2**を下回ったら直ちに**追肥3号**を10a当たり**10kg**施用しましょう。
- ②**分施肥体系** (基肥：基肥555) の場合
1回目 (幼穂長1mm の時期) の7日後、14日後に追肥3号を10a当たり各々15kg施用しましょう。

(2) 五百万石

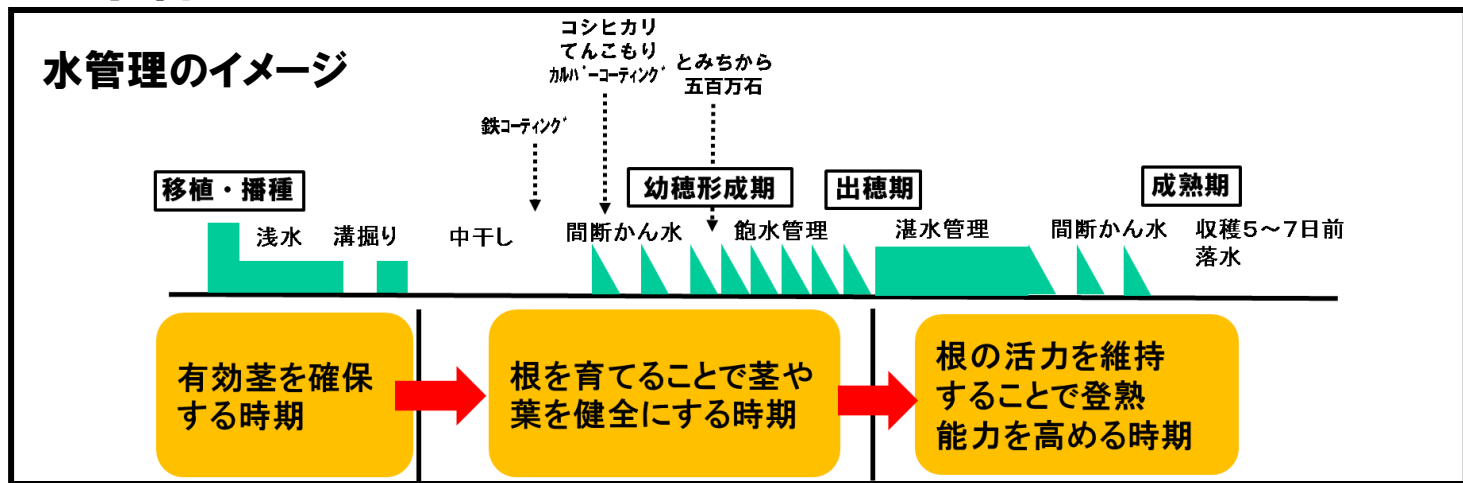
- ①**肥効調節型基肥体系** (基肥：L P s 五百万石専用) の場合
原則、穂肥の施用は不要です。
- ②**分施肥体系** (基肥：基肥555) の場合
必ず幼穂長を確認し、**1回目穂肥は幼穂長10mm頃** (5月2日田植えて7月2日頃) に施用しましょう。

○五百万石の穂肥施用の目安

施用時期	1回目	2回目	1回目穂肥時の目標生育	
	幼穂長10mm時	1回目の7日後	葉色	茎数
10a 当たり施用量 (使用肥料： 追肥3号)	13kg	15kg	3.8～4.0	20本/株

※1回目施用時に葉色が濃い場合は施用時期を遅らせ、茎数が多い場合は施用量を減らしましょう (詳しくは各地区の営農指導員にお問い合わせください)。

2 水管理



(1) とみちから、五百万石

- ・幼穂形成期後は出穂期まで溝や足跡に水が残る程度の湿潤状態を保つ**飽水管理**を行いましょう。

足跡の水を切らさない！

(2) コシヒカリ、てんこもり、直播

- ・中干し後は**間断かん水**を行い、幼穂形成期頃までに田面の硬さが足跡の深さ3cm程度となるように干しましょう。
- ・密苗は草丈がやや長めとなっているので、**落水期間がやや長めの間断かん水**を行いましょう。

○斑点米カメムシ類の発生状況

	R3	平年
発生地点率	100 %	63.9 %
平均頭数	7.9 頭	3.4 頭

平年はH17~R2の平均

3 病害虫防除

(1) 斑点米カメムシ類

- ・斑点米カメムシ類が平年より**かなり多く**発生しています。

<カメムシ類が発生しにくい環境づくりのポイント>

- ① 畔畔や雑種地のイネ科雑草の穂は、カメムシ類の好適なエサとなるので、穂が出ないように草刈りを徹底し、カメムシ類の発生量を少なくしましょう。
- ② 本田内のノビエやホタルイは、アサジガスガメによる被害を助長するので、除草に努めましょう。

一斉草刈り日 7月3日(土)、4日(日) 【草刈り運動期間 7月1日~10日】

(2) 随時防除

- ・**葉いもち**、**紋枯病**の病斑が見られたら、下表に準じ防除しましょう。
- ・紋枯病は、早生品種や「てんこもり」、前年発生が多かったほ場での防除を徹底しましょう。防除適期は、早生品種が出穂14日前頃、「てんこもり」が出穂7日前頃です。

病害虫	防除薬剤名	防除時期	使用時期	使用回数	10a 当たり散布量
葉いもち	ブラシン粉剤 DL	病斑を見つけたら直ちに	収穫7日前まで	2回以内	3~4 kg
	ブラシンフロアブル				60~150ℓ(1,000倍)
紋枯病	バリダシン粉剤 DL	穂ばらみ期(幼穂形成期から10日後頃)	収穫14日前まで	5回以内	4 kg
	バリダシン液剤 5				60~150ℓ(1,000倍)

大豆

1 培土

- ・必ず**培土**を2回行いましょう。

○培土の時期と高さの目安

- 1 回目は本葉2~3葉期 → 子葉が隠れるまで
- 2 回目は本葉4~5葉期 → 初生葉が隠れるまで

2 雑草防除

- ・培土後に雑草がある場合は早めに除草剤を散布しましょう。その際は天候を見て、多量の降雨が予想される場合は使用を避けましょう。